

報道関係者各位

2014年7月15日

アットホーム株式会社

トレンド調査 —「通勤」の実態調査 2014—

5年以内に住宅購入した、都内勤務の子持ちサラリーマン

通勤時間平均 58 分、“理想”は 35 分、“限界”は 86 分 通勤時間が長いほど、睡眠時間が短くなる傾向 通勤時間が長いほど、共働きの割合が低い

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役:松村 文衛)は、1都3県在住で、5年以内に住宅を購入し、都内に勤務する子持ちのサラリーマン 583 名を対象に、「通勤」の実態調査を実施いたしました。

主な結果は以下の通りです。

<主な調査結果>

◆通勤時間平均 58 分、“理想”は 35 分、“限界”は 86 分

自宅から会社までの片道の通勤時間は、全体平均が 58 分、住宅タイプ別にみると、一戸建ては 60 分、マンションは 56 分となり、その差は 4 分でした。また、通勤時間の“理想”は平均 35 分、“限界”は平均 86 分という結果になりました。

◆通勤時間は“有意義” 27.1%、通勤時間 60 分以上で“苦痛”と感じる人増加

通勤時間が“有意義”だと思っている人は、全体の 27.1%でした。また、“苦痛”だと感じている人は 35.7%で、通勤時間別に見ると、60 分から増えて 4 割近くになり、80 分を超えると約半数にのぼっています。一方で、60 分以上でも 4 人に 1 人は「苦痛だと感じていない」ということもわかりました。

◆通勤時間が長いほど、睡眠時間が短くなる傾向

翌日に会社がある時の睡眠時間は、全体平均が 5 時間 54 分でした。通勤時間別に見ると、通勤時間が長くなるにつれて睡眠時間が減っていることがわかります。「通勤時間」と「睡眠時間」は反比例し、通勤時間の長い人は睡眠時間を削っていると考えられます。

◆通勤時間が長いほど、共働きの割合が低い

共働き(子持ち)世帯の割合と通勤時間の関係を調べたところ、通勤時間が長くなるにつれて、共働きの割合が低くなることがわかりました。共働き世帯はお互いに働いている分、「通勤時間」をより重視して住宅購入したと考えられます。

◆通勤時間より優先したこと 一戸建て購入者「一戸建てであること」、マンション購入者「広さ」

住宅購入の際に通勤時間よりも優先したことを聞いたところ、一戸建て購入者の 1 位は「一戸建てである」で 73.0%と、一戸建てへの強いこだわりがうかがえる結果となりました。一方、マンション購入者の 1 位は「広さ」でした。2 位は一戸建て・マンションともに「住み慣れたエリア」で、3 位も同じく「静かな環境」となっています。

<調査結果>

■通勤手段は 8 割以上が「電車」

Q.主な通勤手段を教えてください。(対象:583名、有効回答:583名)

手段	全体	一戸建て	マンション
電車	85.2%	82.7%	88.0%
自動車	4.5%	6.7%	2.1%
自転車	3.9%	3.7%	4.2%
徒歩	2.9%	2.7%	3.2%
バイク	1.9%	2.3%	1.4%
バス	1.5%	2.0%	1.1%

主な通勤手段に関しては、「電車」が 85.2%と、他に大きく差をつけて 1 位でした。

住居タイプ別に見ても、大きな差はありませんが、一戸建ては自動車が、マンションは自転車が若干多くなっています。

■通勤時間平均 58 分、一戸建て 60 分、マンション 56 分

Q. 自宅を出てから会社に着くまでの「通勤時間」は、片道何分位ですか？(対象:583名、有効回答:583名)

	通勤時間
全体 平均	58分

◇住居タイプ別の平均通勤時間

住居タイプ	通勤時間
一戸建て 平均	60分
マンション 平均	56分

◇通勤時間別の割合

通勤時間	人数	割合
0～9分	5名	0.9%
10～19分	20名	3.4%
20～29分	22名	3.8%
30～39分	52名	8.9%
40～49分	81名	13.9%
50～59分	87名	14.9%
60～69分	120名	20.6%
70～79分	76名	13.0%
80～89分	26名	4.5%
90～99分	57名	9.8%
100～109分	14名	2.4%
110～119分	6名	1.0%
120分以上	17名	2.9%

5年以内に持ち家を購入した、1都3県在住、都内勤務の子持ちサラリーマンの、自宅から会社までの片道の通勤時間は、全体平均が58分でした。2009年11月に行った「通勤」の実態調査では、平均が60分だったので、ほぼ変わらない結果となりました。時間ごとの割合をみると、最も多いのは60分台で約2割でした。

住宅タイプ別で見ると、一戸建ては60分、マンションは56分となり、その差は4分となっています。

ちなみに、自宅から最寄り駅までの徒歩分数は、一戸建ては14分、マンションは10分となり、差は同じく4分、会社から会社の最寄り駅までの徒歩分数は、一戸建て・マンションともに平均7分で差はありませんでした。

■通勤時間“理想”は35分、“限界”は86分

Q. 自宅を出てから会社に着くまでの「通勤時間」の“理想”と“限界”は片道何分位ですか？

(対象:583名、有効回答:583名)

“理想”の通勤時間	“限界”の通勤時間
35分	86分

通勤時間の“理想”の平均は35分、“限界”の平均は86分でした。現在の通勤時間が100分以上の方は、60分以内が理想の通勤時間となり、すでに現状を限界だと考えているようです。

◇現在の通勤時間別の“理想”と“限界”の平均

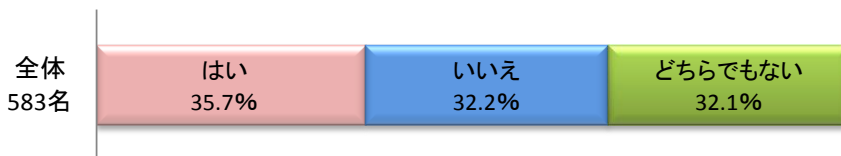
現在の通勤時間	“理想”	“限界”
0～9分	4分	37分
10～19分	11分	38分
20～29分	19分	60分
30～39分	23分	68分
40～49分	31分	73分
50～59分	32分	78分
60～69分	39分	90分
70～79分	40分	94分
80～89分	38分	100分
90～99分	47分	111分
100～109分	50分	110分
110～119分	58分	120分
120分以上	45分	133分

■通勤時間は“有意義”27.1%、通勤時間60分以上で“苦痛”と感じる人増加

Q. 通勤は、あなたにとって、有意義な時間ですか？(対象:583名、有効回答:583名)



Q. 通勤は、あなたにとって、苦痛な時間ですか？(対象:583名、有効回答:583名)



◇通勤時間別の「苦痛だと感じている人」の割合

Q. 通勤は、あなたにとって、苦痛な時間ですか？(対象:583名、有効回答:583名)

通勤時間	人数	はい	いいえ	どちらでもない
0～19分	25名	28.0%	36.0%	36.0%
20～39分	74名	25.7%	44.6%	29.7%
40～59分	168名	27.5%	37.5%	35.1%
60～79分	196名	39.3%	25.5%	35.2%
80～99分	83名	49.4%	24.1%	26.5%
100分以上	37名	48.6%	35.1%	16.2%

通勤時間が“有意義”だと思っている人は、全体の27.1%でした。また、“苦痛”だと感じている人は35.7%で、通勤時間別に見ると、60分から増えて4割近くになり、80分を超えると約半数にのぼっています。一方で、60分以上でも4人に1人は「苦痛だと感じていない」ということもわかりました。

■通勤時間が長いほど、睡眠時間が短くなる傾向

Q. 翌日会社がある時の睡眠時間は、どれ位ですか？(対象:583名、有効回答:579名)

◇通勤時間別の睡眠時間の平均

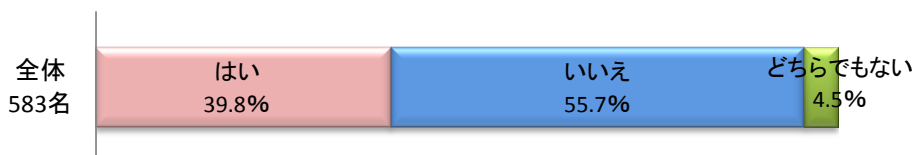
	睡眠時間
全体 平均	5時間54分

通勤時間	人数	睡眠時間平均
0～19分	24名	6時間02分
20～39分	73名	6時間17分
40～59分	168名	6時間03分
60～79分	195名	5時間48分
80～99分	83名	5時間39分
100分以上	36名	5時間22分

翌日に会社がある時の睡眠時間は、全体の平均が5時間54分でした。通勤時間別に見ると、通勤時間が長くなるにつれて睡眠時間が減っていることがわかります。「通勤時間」と「睡眠時間」は反比例し、通勤時間の長い人は睡眠時間を削っていると考えられます。

■通勤時間が長いほど、共働きの割合が低い

Q. 奥様は、現在働いていますか？(対象:583名、有効回答:583名)



◇通勤時間別の「妻が働いている人」の割合

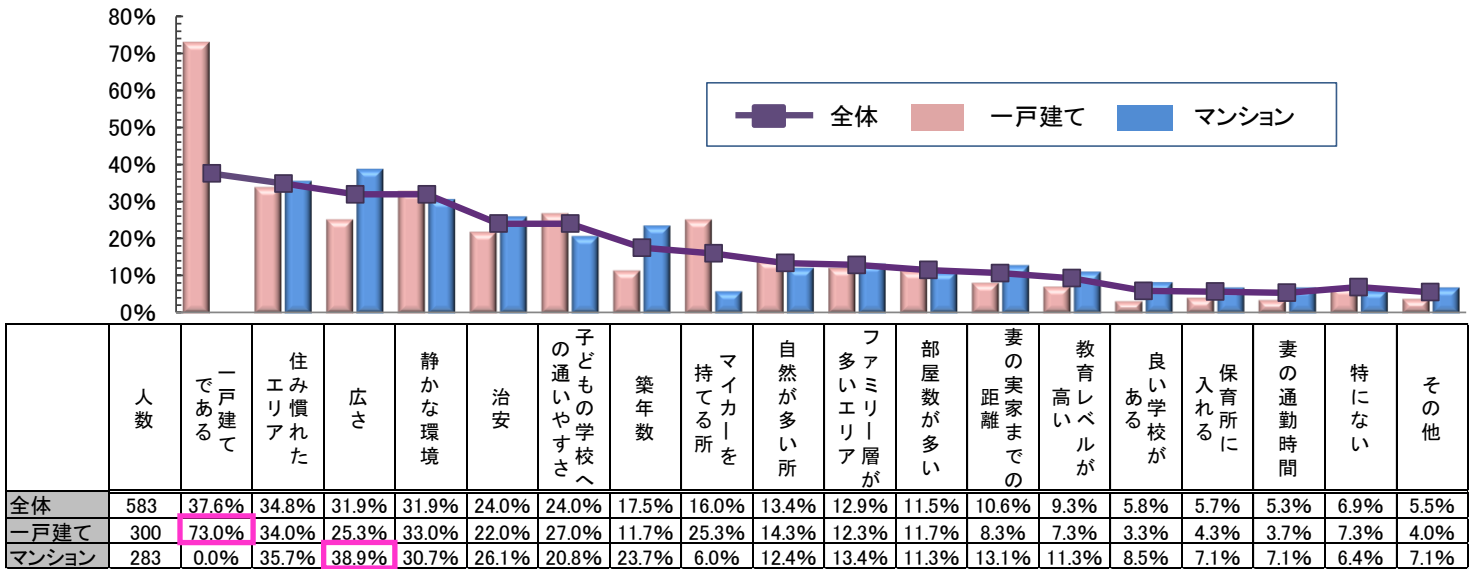
Q. 奥様は、現在働いていますか？(対象:583名、有効回答:583名)

通勤時間	人数	はい	いいえ	どちらでもない
0～19分	25名	52.0%	28.0%	20.0%
20～39分	74名	50.0%	43.2%	6.8%
40～59分	168名	39.9%	56.0%	4.2%
60～79分	196名	39.3%	57.7%	3.1%
80～99分	83名	36.1%	60.2%	3.6%
100分以上	37名	21.6%	78.4%	0.0%

妻も働いている、共働き(子持ち)世帯の割合と通勤時間の関係を調べたところ、通勤時間が長くなるにつれて、共働きの割合が低くなることがわかりました。共働き世帯はお互いに働いている分、「通勤時間」をより重視して住宅購入したと考えられます。

■通勤時間より優先したこと 一戸建て購入者「一戸建てであること」、マンション購入者「広さ」

Q. 住宅購入の際、自分の通勤時間よりも優先したことは何ですか？(対象:583名、有効回答:583名、複数回答)

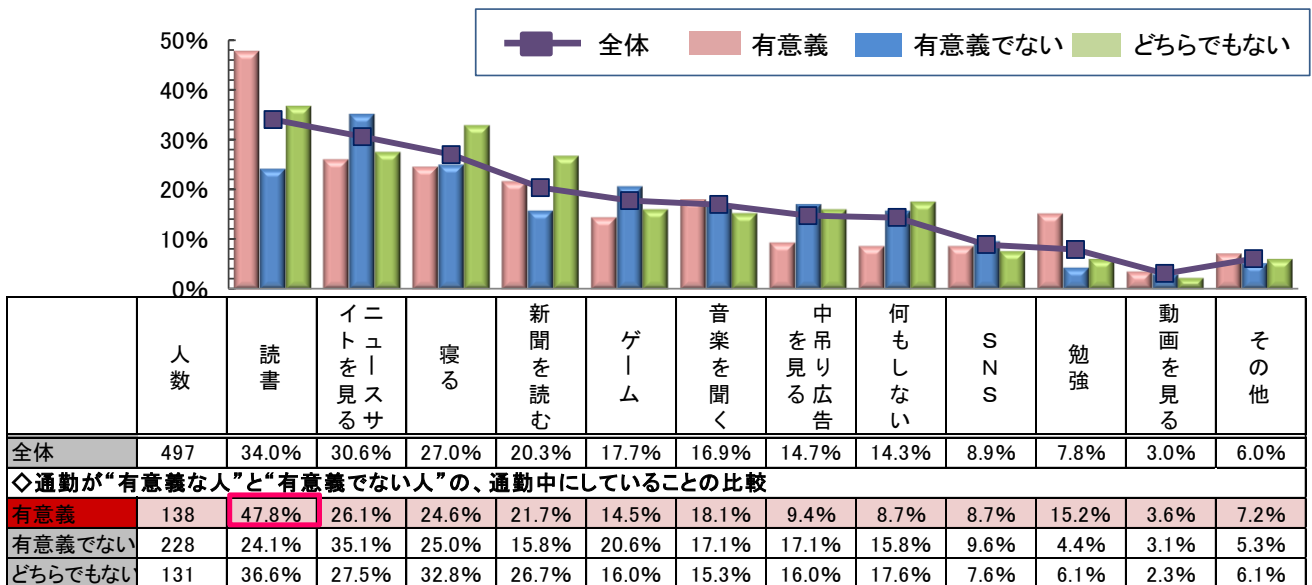


住宅購入の際に通勤時間よりも優先したことを聞いたところ、一戸建て購入者の1位は「一戸建てである」で73.0%と、一戸建てへの強いこだわりがうかがえる結果となりました。一方、マンション購入者の1位は「広さ」でした。2位は一戸建て・マンションともに「住み慣れたエリア」で、3位も同じく「静かな環境」となっています。

■電車通勤中にすること 1位「読書」33.8%、通勤時間が“有意義”な人は半数近くが「読書」

Q. 通勤中、何をしていることが多いですか？／通勤は、あなたにとって、有意義な時間ですか？

(対象:電車通勤者497名、有効回答:497名)



電車で通勤している人が通勤中にしている事は、1位「読書」、2位「ニュースサイトを見る」、3位「寝る」となりました。また、P.3の「通勤は有意義な時間だと思っている」人で圧倒的に多かったのも「読書」でした。

■電車通勤 80 分から「寝る」人増加

◇通勤時間別 翌日会社がある時の睡眠時間と通勤中に寝ている人の割合

Q. 翌日会社がある時の睡眠時間は、どれ位ですか？／ 通勤中、何をしていることが多いですか？

(対象: 電車通勤者 497 名、有効回答: 495 名)

通勤時間	人数	睡眠時間平均	通勤中に「寝る」人の割合
0～19分	5名	7時間13分	20.0%
20～39分	41名	6時間25分	7.3%
40～59分	148名	6時間01分	14.9%
60～79分	186名	5時間49分	28.0%
80～99分	81名	5時間36分	44.4%
100分以上	34名	5時間22分	58.8%

P.3の「睡眠時間」と「電車通勤中に寝る人」の関係を見ると、通勤時間が長くなるにつれて「寝る」人が増えています。睡眠時間を通勤中に補っている様子が見え始める結果となりました。

■通勤電車の理想の“路線” 1位「山手線」

Q. 自宅の場所に関係なく、乗りたい理想の通勤電車の路線を教えてください。

(対象: 電車通勤者 497 名、有効回答: 497 名)

順位	路線名	票数
1	山手線	58
2	中央線	35
3	東急東横線	28
4	東急田園都市線	26
5	京浜東北線	17

電車通勤者の理想の路線を聞いたところ、1位は「山手線」となりました。理由として多かったのは、「本数が多い」「都心を走っていて便利」とのことでした。2位は「中央線」で、「終電が遅い」「乗り慣れている」という理由が目立ちました。3位の「東急東横線」と4位の「東急田園都市線」は「おしゃれ」「イメージが良い」という声、5位の「京浜東北線」は「乗り慣れている」という声が多く上がりました。

<調査概要>

◆対象／5年以内(2009年5月以降)に住宅を購入し、首都圏(1都3県)在住で、都内勤務の子持ち既婚(妻と同居)サラリーマン 583名。

◇居住地

東京都	63.8%
神奈川県	14.1%
埼玉県	11.5%
千葉県	10.6%

◇住宅タイプ

	全体	新築	中古
全体	100% (583名)	72.2% (421名)	27.8% (162名)
持ち家 一戸建て	51.5% (300名)	44.6% (260名)	6.9% (40名)
持ち家 マンション	48.5% (283名)	27.6% (161名)	20.9% (122名)

◇購入年度別 住宅購入価格平均

購入年度	有効回答数	購入価格平均
2009年購入	60名	4,260万円
2010年購入	144名	4,261万円
2011年購入	132名	4,497万円
2012年購入	150名	3,951万円
2013年購入	79名	4,185万円
2014年購入	13名	4,110万円

◆調査方法／インターネットリサーチ

◆調査期間／2014年6月6日(金)～6月10日(火)

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計100%にならない場合があります。